



# 大分市、本年度から検診に追加

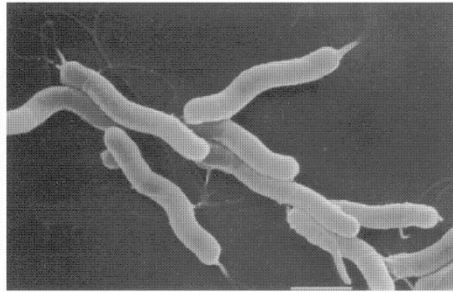
# 小5にピロリ菌検査

## 胃がん 早期対策へ

【大分】大分市教委は本年度から、市内の小学5年生を対象に胃がんの主な原因となっているヘリコバクターピロリ菌の検査を実施する。小5の希望者を対象に毎年実施している血液検査「すこやか検診」の検査項目に追加する。県内では別府・臼杵両市が取り組んでいる。



小5を対象にした血液検査の項目にピロリ菌検査を追加



ピロリ菌(東海大学医学部提供)

胃がんの9割以上がピロリ菌による感染が原因で予防には若いうちの検査や除菌が効果的とされている。大分市教委によると、ピロリ菌は幼少期に感染することが多く、小学生になると保菌の有無が大人と同程度に分かるようになるという。

胃がんの9割以上がピロリ菌による感染が原因で予防には若いうちの検査や除菌が効果的とされている。大分市教委によると、ピロリ菌は幼少期に感染することが多く、小学生になると保菌の有無が大人と同程度に分かるようになるという。

すこやか検診は、生活習慣病の予防や早期発見につながるよう実施。現行の肥満度や中性脂肪、血小板数などの検査項目にピロリ菌

すこやか検診の受診率は8割程度。本年度は2学期に予定しており、対象者約4千人には希望の有無や検診の内容を記載した文書を各学校から保護者に配る。事業費は約1250万円。

(安里葉冬)

〔問①〕 小学5年生の希望者を対象に毎年実施している検診を何と言いますか。

〔問②〕 胃がんの主な原因は何ですか？

〔問③〕 この検診の受診率は8割程度です。2024年度は2学期に予定していますが、あなたは5年生のとき検診をうけてみようと思いますか。また、それはなぜですか。